

令和6年度 研究推進計画書

研究推進委員会

- 1 研究形態 発表校 () 準備校1 (○) 準備校2 ()
(該当するものに○をつけてください)

2 学校教育目標

未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成

～地域・家庭とのつながりによるレジリエントな学校を目指して～

3 前年度の研究

(1) テーマ

主体的に学ぶ生徒の育成

～自ら課題を見つけ、見通しをもち、ともに学び合う授業づくり～

(2) 成果と課題

① 成果

研究テーマ「主体的に学ぶ生徒を育成」の実現にむけ、授業実践に全教員で取り組んだ。校内授業研究会での授業の指導案を1ヶ月前に全教員で検討し、教員間での授業に対する話し合いを活発に行った。

また、マトリクスシートを活用することにより、さらに焦点を絞った検討ができた。

さらに、授業アンケート、学習アンケートやQ U等を活用し、生徒の現状を把握し、授業改善につなげ、PDCA サイクルを確立することができた。

② 課題

I C Tの活用が進み、全国学力・学習状況調査において、I C T活用の項目が向上しており生徒たちもI C Tの活用慣れてきている。ただ、個別最適な学びの実現のためにも、効果的なI C Tの活用を進めていかななくてはならない。

また、「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していたか」や「授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいたと思う」の項目については、全国平均を下回っているため、主体性を高める授業づくりに努めなければならない。

4 本年度の研究

(1) テーマ

主体的に学ぶ生徒の育成

～自ら課題を見つけ、見通しをもち、ともに学び合う授業づくり～

(2) 研究領域・教科

- ・授業において、目標を明確にし、見通しをもたせることで、生徒が主体的に学習に取り組め、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。
- ・本時や単元の終わりにおいて、自らの学びをふりかえり、新たな課題を探求する機会を増やし、研究テーマである「主体的に学ぶ生徒の育成」を目指す。

(3) テーマの設定の理由

昨年度と同じく、主体性を高めるための授業づくりに課題があるため、引く続き、生徒が自ら課題解決できる授業を展開していきたい。自ら課題を探求し、主体的に「問い」が立てられる生徒を育成していきたいと考え、本テーマを設定している。

(4) 研究推進計画

※以下の内容が決まっておりましたら、ご記入ください。

・日程・講師（所属・お名前）・公開授業（学年・教科）の日程等

	日程	内容	講師	学年	教科
(例)	4月26日(金)	研究全体会	〇〇大学教授 〇〇 〇〇氏		
(例)	6月5日(水)	公開授業	未定	6年	未定
1	4月3日(水)	アレルギー対応研修	中学校給食センター 窪田栄養教諭	教職員	
2	6月20日(仮)	校内研修会	武庫川女子大学 教授 神原一之氏	未定	家庭科
3	8月	夏季研修会	未定	未定	未定
4	11月	校内研修会	武庫川女子大学 教授 神原一之氏	未定	保健体育
5	1月	校内研修会	武庫川女子大学 教授 神原一之氏	未定	理科

※適宜、行を増やしてご記入ください。